

GO! WEST!

学校ホームページの紹介

紫波西学園では、学校や子どもたちの様子をタイムリーに、学校報や学年通信、ホームページ等で情報提供しています。今回はホームページから紹介します。随時アップしていますので、お時間があるとき、学校ホームページをご覧ください。

【紫波第三中学校】三中祭開催

10月2日(土)、秋晴れの空の下、紫波第三中学校の文化祭「三中祭」を開催しました。昨年度は新型コロナウイルス感染症拡大のために開催しなかった三中祭、2年ぶりの開催となりましたが、今年度も縮小した形での開催となり、保護者の方も各家庭1名のみ参観可能としました。それでも生徒たちは、この日に向けて準備と練習を行ってきました。「合唱祭」がメインのために、毎日行った合唱練習。その成果をどの学級も披露してくれました。また、現生徒会執行部にとっては、最後の大きな生徒会行事。他の生徒が帰ってから、準備作業をしてきました。

今はまだ制限された取り組みしかできませんが、そのような中でも精いっぱい自分たちが行えることを行うことはとても大事なことです。紫波三中生の素敵なハーモニー・・・もっと大勢の方に聴いてもらいたいと思いました。保護者の皆様、どうもありがとうございました。



【西の杜小学校】西地区歴史探訪



2学期、6年生は総合的な学習の時間で「ふるさとの歴史」について学んでいます。

10月6日(水)は、水分地区・志和地区の歴史ある建造物(神社・仏閣)について実際に現地に行き、地域の方から説明を受けてきました。

見学先の一つである水分地区の蜂神社は、坂上田村麻呂、源頼義・義家父子、源頼朝など歴史上の人物が陣を敷いたとされる土地であったとのこと。特に、源頼義・義家父子の関わりが深く、前九年合戦の際、厨川の戦いで敵の安倍貞任を攻略する時に藪の中の蜂の大群に悩まされていた義家が、逆に夜のうちに蜂の巣を袋に詰めて、翌朝それを敵陣に投げ込んで敵を混乱させて討ち果たしたため、蜂を祀る神社を建立したという伝説も残されているとのことでした。子供たちは、その名前の由来に驚いていました。

6年生はこの後、さらに自分たちで調べ、お互いに知ったことを発信する活動を進めていきます。

【質問例：八幡神社裸祭り】

Q1 口にくわえている紙の意味は?

A1 含み紙というもので私語を慎み神様に息をかけないようにするためのもの。

Q2 裸参りでなぜお酒造りを始めたか。

A2 日本酒の仕込みは厳冬期に行われてきた。志和の裸参りは、仕込みに入る前に杜氏・蔵人が、醸造の安全を祈願

様々、地域の方が先生になって答えてくださいました

第2回学校運営協議会

9月27日(月)に、延期されていた第2回学校運営協議会を開催しました。その協議された主な内容をお知らせします。

【協議題1 冬季間の除雪について】

① 課題

- ・ 西の杜小学校が開校し、水分・片寄地区の児童は、4本のスクールバスで通学しています。冬季間は、スクールバス停留所とその付近の除雪をどうするか、また、上平沢地区の徒歩で通学する児童・生徒も、まだ除雪されない狭くなった道路を歩いて通学し、通学の安全が危惧されます。

② 解決策

- ・ 各地区で保護者が中心となって除雪対策をしますが限界があり、地域の皆様の協力がぜひ必要です。そこで、協議会・学校・PTA三者で、自治公民館長・区長さん方を通じて地域の方々のご協力をお願いすることとしました。大変お手数をおかけしますが、どうぞよろしくお願いいたします。

【協議題2 今後の地域学校協働活動について】

- ・ CSができてよかったという具体的成果を、地域の皆さんに示せるような活動をしたい。
- ・ 学校や子どもたちの様子、CSの活動について様々な情報発信をして理解を図る。さらに、お互いが理解しあえるよう双方向の通信ができればさらにいい。
- ・ 水分・上平沢・片寄の三地域が豊かなハーモニーを奏でられるように、どこで、どうしたら各地域の特色を生かせるか考えながら活動を深めていきたい。
- ・ 西の杜小学校に読み聞かせボランティアが結成され、11月15日(月)から、早速読み聞かせが始まります。ボランティアは随時受け付けています。

次回(第3回)学校運営協議会のお知らせ

11月26日(金) 午後6時30分～8時

- ・ 小中一貫教育(ふるさと学習)について 他

鎌を上手に使って稲刈り



はせがけをする子供たち



5年生46名は、総合の学習の時間「米作り体験」で、地域の皆様のご協力のもと、水分・南伝法寺地区の田んぼをお借りして、5月18日(水)に田植え体験、9月21日(月)稲刈りとはせ掛け体験をしました。

田植えをしてから4か月が経ち、稲刈りでは、最初はびくびく、徐々に大胆に、上手に鎌を使って刈り、8束ずつまとめて大きな束にして、はせ掛けをしました。

田植えの時、三本ずつ植えた細い苗が、4か月の間に数十本にも分けつして、たくさんの穂を付けた長い穂になった様子に感激しながら稲刈りをしました。

これからは、脱穀してできたもち米を使って紅白餅を作っていただく予定です。地域の皆さん、コロナ禍の中、ありがとうございました。

水分農産・西田 さんのお話

西の杜小学校になってから初めての農業体験、三つの地域が合併し、初めての田植え作業、慣れている子や、どこかぎこちない子、それでもみんなで楽しく泥んこまみれになりながら田植えができましたね。

収穫に至っては、恐る恐る鎌を使い刈り取り、はせがけでは地域の方々に教わりながら、わらで稲を縛り、上手にはせがけができましたね。

この地域の生業(なりわい)を体験でき、とてもよかったと思います。引き続き、このような体験を次の世代へ繋いでいってほしいです。



稲刈り指導をしてくださった地域の皆さん

